

ちょこちょこ背景

さて、3Dを使った背景作画も、5回目。3Dを配置して、ベクターレイヤーを使ってトレースしてきましたが、今回はトレースの時に覚えておくと役に立つちょこちょこ技を紹介したいと思います。

直線ツールのあれこれ

3Dデータのトレースで一番使う、直線ツール。使っている時に微妙に線の太さを変えたい……
そんな時は、太さを変えるショートカットを覚えておくと便利です。

太さ変更のショートカット

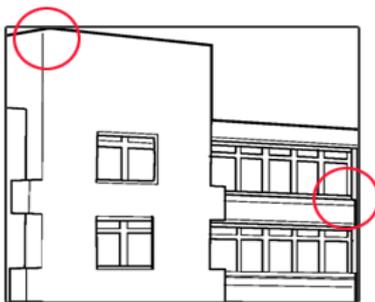
直線ツールもペンツールと同様、キーボードの「**]**」キーと、「**[**」キーを押すことでサイズの変更ができます。

] …… 1回押すことで線のサイズを0.1mmずつ太くする

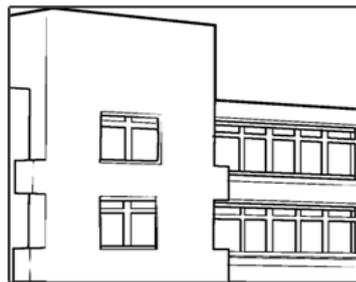
[…… 1回押すことで線のサイズを0.1mmずつ細くする

入り抜きをつけて直線を引く

直線ツールで線を引いていると、いかにもデジタルで描いたような印象になります。
ツールパレットの入り抜きをオンにして、光のあたっている部分が細くなるようにすると、アナログのペンで描いたようになります。



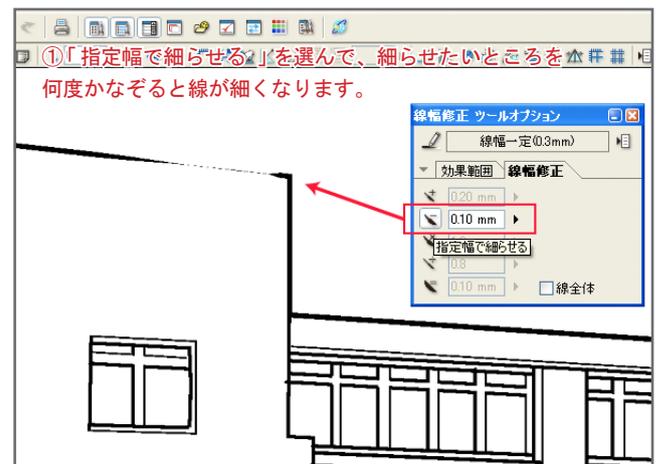
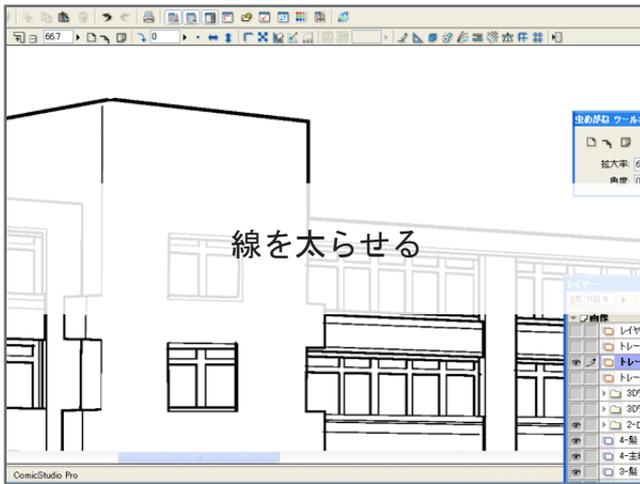
【入り抜きなし】

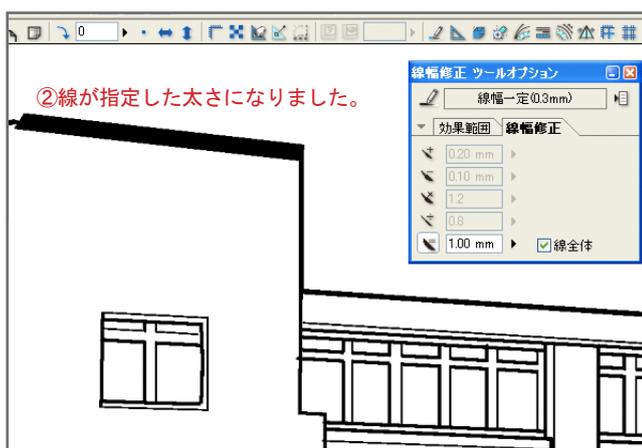
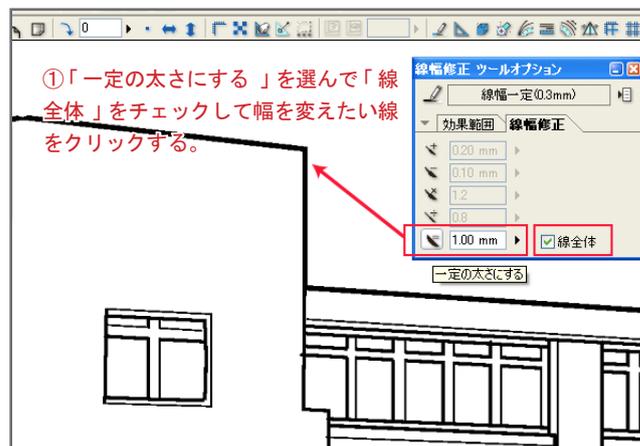
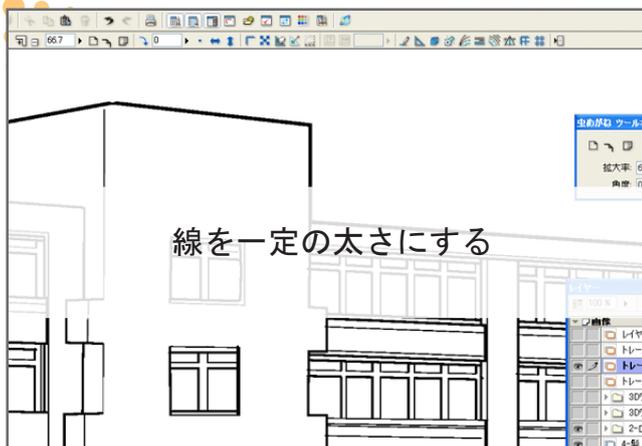


【入り抜きあり】

引いた線を後から太くor細くする

ベクターレイヤーに描いた線は、「線幅修正」ツールを使って、後から太らせたり、細らせたり、一定の幅にしたりすることができます。





線を太くする

線幅修正ツールを選び、ツールオプションの「線幅修正タブ」で「指定幅で太らせる」を選び、どれくらい太くしたいか選びます。そして、太くしたい線をなぞれば、なぞった部分の線が太くなります。「線全体」にチェックが入っていれば、なぞった線全体を均一に太くします。

線を細くする

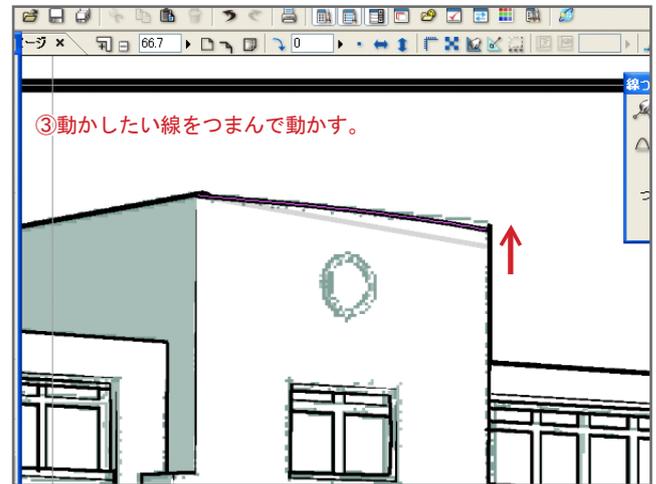
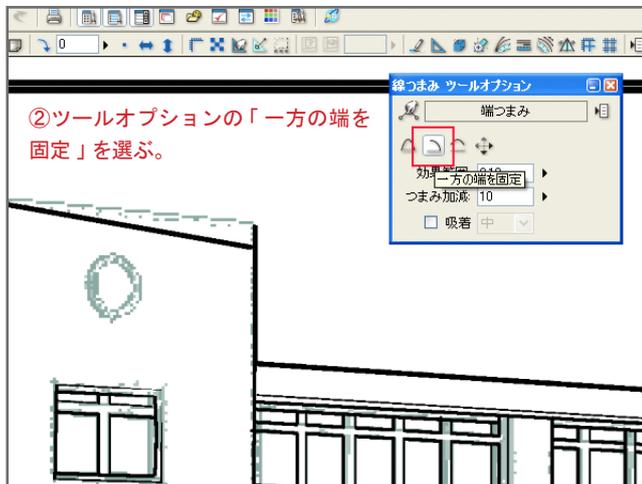
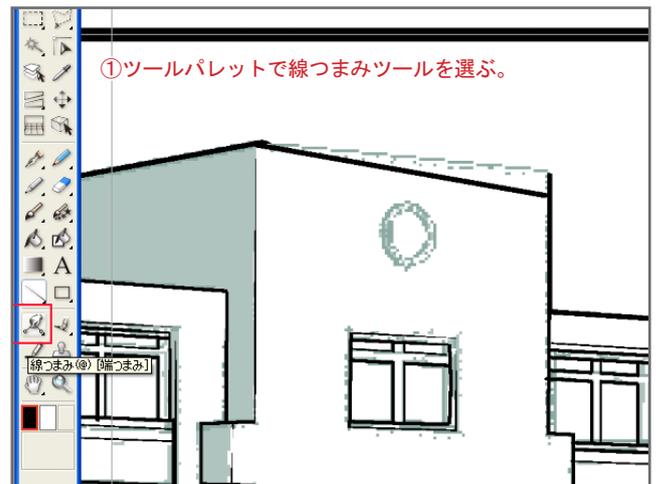
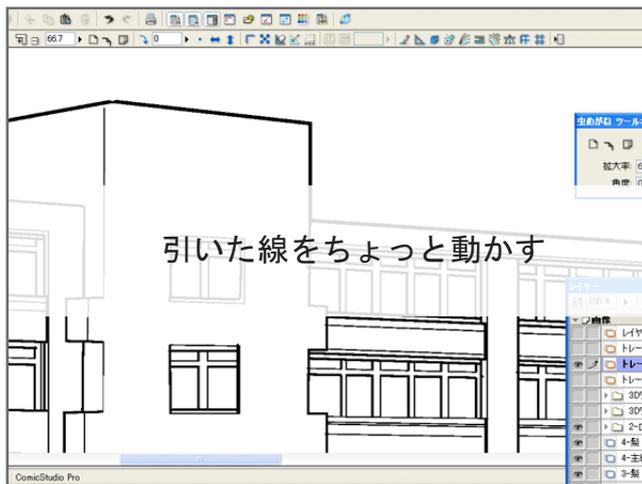
線幅修正ツールを選び、ツールオプションの「線幅修正タブ」で「指定幅で細らせる」を選び、どれくらい細くしたいか選びます。そして、細くしたい部分をなぞれば、なぞった部分の線が指定した割合で細くなります。「線全体」にチェックが入っていれば、なぞった線全体を均一に細くします。

線を一定の太さにする

引いた線を指定した太さにすることができます。「一定の太さにする」を選び、好みの太さを指定し、「線全体」にチェックを入れ、変更したい線をクリックすると、線を指定した太さにすることができます。

引いた線をちょっと動かす

引いた線を動かして、線の位置を変えることができます。トレースした線が微妙にズレてしまった時、調整するのに便利です。



これは、「両端固定」や「両端自由」「線全体を平行移動」など、いろんな動かし方を選べるので、調整したい感じにあわせて選ぶといいと思います。今回のように、パースにそって線を動かしたい場合は、「一方の端を固定」を選ぶといいと思います。

次回は、残りの背景に取りかかろうと思います。